

科目名	社会福祉政策論研究 [院]					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	8010

●授業のテーマ

社会福祉学における政策(論)研究の視点と方法

●到達目標

社会福祉政策の対象・主体・方法、理念・原則等といった理論研究における基本テーマについて、わが国の戦後における代表的な論者の業績に学び、政策研究に必要な視点・方法を習得する。また、今日における福祉政策の改革動向のなかで理論研究に問われている課題を見出す。

●学習内容(授業概要)

社会福祉の本質と機能、対象となる生活問題のとらえ方、政策・制度と援助技術の区別と関連、福祉労働や運動の位置づけなどに着目して代表的な理論研究の要点を学び、比較しながら政策研究としての視点・方法を考察していく。

また、受講者が社会福祉研究をすすめていくための基礎的な力量を培い、最近の社会福祉をめぐる構造改革の現実のなかで理論と実践に問われる研究課題を探求していく。

●学習内容(授業計画)

1. 授業のねらいと進め方について
2. 社会福祉研究の視点と方法 (講義と議論)
3. 社会保障論の基本を学ぶ ①資本主義社会と社会保障の意義
4. ②社会保障制度の形成と発展
5. ③政策目的としての生存権保障
6. 岡村重夫「機能論」の検討 ①社会福祉固有の視点
7. ②援助の原理
8. ③社会福祉の対象
9. 孝橋正一「政策論」の検討 ①社会科学的研究方法
10. ②社会事業の補充・代替性
11. ③社会事業の対象と主体
12. 三浦文夫「経営論」の検討 ①社会福祉経営論の枠組
13. ②社会福祉におけるニードとサービス
14. 真田是「労働・運動論」の検討—社会福祉の三元構造
15. 総括的な議論とまとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習としては、予定する文献等を精読して各理論の基本的な特徴を押さえつつ、理解を深めるための疑問や問題提起に向けた用意をする。

事後では、各理論にみられる独自の論理・枠組を深め直し、研究方法における相互の違いを明らかにしたり、論争にも触れた学習に取り組む。

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…40%
- 2) 期末のレポート試験 …60%

●テキスト（必携）

扱う文献を授業時に配布する。

●参考文献／その他

適宜紹介する。

●履修上の注意

授業で取り上げる文献は代表的な論者の一部にとどまるので、これらの他、社会福祉学としての確立・発展に貢献しようとする研究（者）の業績から多くを学んで検討してほしい。